日本農業技術検定団体受験ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ

平成 30 年度版

日本農業技術検定協会

（事務局：一般社団法人全国農業会議所）

日本農業技術検定団体受験ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ

目　　次

1. 2018 年(平成 30 年)度日本農業技術検定学科試験実施要項
2. 2018 年(平成 30 年)度日本農業技術検定実技試験実施要項
3. 日本農業技術検定の概要
(1)日本農業技術検定とは
(2)検定の種類
(3)受験申込方法
(4)受験料
(5)合格のﾒﾘｯﾄ
(6)試験内容
(7)試験領域と試験問題
(8)試験結果
4. 団体受験の要件
(1)要件
(2)試験官誓約書の提出
(3)行政財産使用申請所の扱い
5. 団体受験(学科試験)の申込方法
(1)ﾛｸﾞｲﾝから申込み完了までの流れ
(2)ﾛｸﾞｲﾝ
(3)ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの入力・確認と個人情報保護方針の確認
(4)団体情報の入力と確定
(5)受験者名簿の登録
①受験者の登録
②受験者の一括登録
③2 級実技試験の免除
④受験者の確定
⑤受験申込受付ﾒｰﾙの確認・ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの取得
(6)登録内容の確認・変更の操作
(7)受験者の追加・変更の操作
(8)ｷｬﾝｾﾙ操作
6. 受験料の支払方法
(1)受験料
(2)受験料支払方法
7. 2 級実技試験免除の申請(学校、個人)
(1)2 級実技試験免除規定

8. 行政財産使用申請書の取り扱い
(1) 申請手続き
(2) 使用料
9. 受験票・試験資材の発送
(1) 受験票の送付等
(2) 試験資材の発送
10. 試験結果の通知と合格証等の交付
(1) 試験結果の通知
(2) 合格証等の交付
(3) 合格証の誤植等への対応
(4) 合格証の再発行
11. 試験官
(1) 試験官数
(2) 試験官誓約書の提出
(3) 試験官報酬
(4) 試験官報酬申請書
12. 試験運営ﾏﾆｭｱﾙ
(1) 試験運営ﾏﾆｭｱﾙ
(2) ﾏﾆｭｱﾙの入手方法
13. その他
(1) 一般受験者の受け入れ意向確認とご協力のお願い
(2) 問い合わせ先

1. 2018年(平成30年)度日本農業技術検定学科試験実施要領

平成29年11月
日本農業技術検定協会

1.試験日
【第1回】平成30年 7月14日(土)
【第2回】平成30年12月 8日(土)
※1級学科試験は第2回(12月)のみ実施。

2.試験時間
【3級】10:00~10:40(40分)
【2級】11:10~12:10(60分)
【1級】13:00~14:30(90分)*第2回(12月)のみ

3.試験会場
一般受験は東京・大阪等各地の指定会場。
団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場。

4.受験資格
【3級】なし
【2級】なし
【1級】なし

5.受験料

	一般受験	団体受験	団体受験(学生割引)
【3級】	3,080円	2,570円	1,540円
【2級】	4,110円	3,290円	1,540円
【1級】	5,140円	4,110円	3,080円

*団体受験の学生割引は、農業高校、農業者大学校、専門学校、大学の生徒・学生に適用する。

6.団体受験の要件
①すべての級を合わせた受験者が合計5名以上であること。
②試験会場を実施団体で準備・提供すること。
③試験当日は、試験官として1名以上(可能な限り1教室2名)担当すること。
④日本農業技術検定試験実施規程に基づき、当技術検定を厳正公正に実施できること。
⑤試験会場として知り得た情報を開示、漏洩しないこと。
⑥試験実施に当たっては、日本農業技術検定協会の指示に従うこと。

*高校・大学校・大学等教育機関、都道府県農業会議以外の JA、農業法人等の団体受験の場合、試験官は就任に当たって次の事項を定めた「誓約書」を日本農業技術検定協会に提出する。なお、不正があった場合は、団体受験者全員の合格を取り消す。

ⅰ試験運営ﾏﾆｭｱﾙ等試験に関する規程を遵守すること

ⅱ試験問題等を試験実施日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと

ⅲ職務上知り得た情報を開示、漏洩しないこと

ⅳ試験実施に当たっては、厳正公正に行うこと

7. 試験官報酬

団体受験の試験実施団体には試験官報酬(1 人:2,000 円)を支払う。ただし、1 級試験まで担当した試験官には 2,000 円を追加する。

8. 試験問題と解答方法

【3 級】農業基礎として共通 30 問、「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から 1 科目選択で 20 問。「栽培系」「畜産系」「食品系」のうち 5 問については 10 問の中から選択する。「環境系」のうち 5 問については、3 種類(造園、農業土木、林業)から 1 種類を選択し、10 問の中から選択する。四者択一のﾏｰｸｼｰﾄ方式による計 50 問。

【2 級】農業一般として共通 15 問、「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から 1 科目選択で 35 問。五者択一のﾏｰｸｼｰﾄ方式による計 50 問。

【1 級】農業一般として共通 20 問、「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から 1 科目選択で 40 問。五者択一のﾏｰｸｼｰﾄ方式による計 60 問。

9. 出題範囲

【3 級】農作業の意味が理解できる入門ﾚﾍﾞﾙ

【2 級】農作物の栽培管理等が可能な基本ﾚﾍﾞﾙ

【1 級】農業の高度な知識・技術を習得している実践ﾚﾍﾞﾙ

※具体的な出題範囲については、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等で公表する。

10. 申し込み期間

【第 1 回】 5 月 1 日(火) ~ 6 月 1 日(金)

【第 2 回】10 月 1 日(月) ~ 11 月 1 日(木)

11. 申込方法

(1)一般受験

一般受験は個人がｲﾝﾀｰﾈｯﾄで申し込む。なお、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ環境がない場合には、FAX あるいは郵送で申し込む。

一般受験については、全国農業会議所・日本農業技術検定ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ(https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/上の「一般新規申し込み」画面にﾛｸﾞｲﾝし、申し込む。

一般受験のうち「農の雇用」事業研修生は、都道府県農業会議が受験者をとりまとめて、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄで申し込む。

期日までに受験料が振り込まれない場合はｷｬﾝｾﾙと見なす。

(2)団体受験

団体受験は学校・JA・農業法人などの実施団体が受験者を取りまとめ、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄで申し込む。

団体受験については、全国農業会議所・日本農業技術検定ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ(https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/上の「団体新規申し込み」画面にﾛｸﾞｲﾝし、申し込む。

技術検定協会が定める期日までに受験料が振り込まれない場合はｷｬﾝｾﾙと見なす。

12.受験料振込先等

一般受験は、申込者個人が受験料を指定口座に振り込む。団体受験は実施団体が一括して受験料を指定口座に振り込む。一般受験、団体受験とも、送金後にｷｬﾝｾﾙが発生しても受験料は返金しない。

振込口座は、一般受験、団体受験とも申込者それぞれに別々の口座番号(該当検定1回限りの口座番号)を割り当てる。振込手数料は受験者が負担する。ただし、団体受験の場合は検定協会が負担する。

13.合格基準

【3級】100点満点の原則60%以上
【2級】100点満点の原則70%以上
【1級】120点満点の原則70%以上
※日本農業技術検定協会で定めた基準により、選択科目間の調整等を行うことがある

14.試験結果通知

【第1回】平成30年8月中旬
【第2回】平成31年1月中旬

一般受験は、成績表と合格証等を各個人に送付する。団体受験は、受験者の得点一覧と合格証等を実施団体に一括して送付する。

15.実施主体

日本農業技術検定協会(事務局:一般社団法人全国農業会議所)
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8
TEL:03-6910-1126 FAX:03-3261-5131
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/
ﾒｰﾙ:kentei@nca.or.jp

2. 2018年（平成30年）度日本農業技術検定実技試験実施要領

平 成 2 9 年 11 月
日本農業技術検定協会

1. 試験日

【2 級】平成 30 年 11 月 10 日（土）

【1 級】平成 30 年 12 月 8 日（土） *1 級学科試験会場で同時に実施

2. 試験内容

【2 級】

農業機械作業として「乗用ﾄﾗｸﾀｰ」「歩行型ﾄﾗｸﾀｰ」「運搬車」「刈り払い機」「背負い式防除機」から 2 機種を選択し、実地研修試験を行う。

2 級実技試験免除規定に適合する者は、申請に基づき実技試験を免除する。

【1 級】

要素問題によるﾍﾟｰﾊﾟｰﾃｽﾄで、試験時間は 90 分とする。基礎的確認事項と専門選択分野における実践的知識・経験を問う論述式とする。

3. 試験会場

【2 級】鯉淵学園農業栄養専門学校（茨城県・水戸市）

【1 級】東京・大阪等の指定会場。団体受験実施団体の準備・提供した会場

4. 受験資格

【2 級】2 級学科試験合格者

【1 級】1 級学科試験合格者であり、2 年間以上の就農経験を有する者、または検定協会が定める事項に適合する者（JA の営農指導員、普及指導員、大学・高校等の技術職員の実務経験も就農経験と同等と見なす。農学系学生は農場実習の 4 単位（ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟを含む）を取得し、全国大学付属農場協議会等が認定した者は就農経験と見なす）。

5. 受験料

【2 級】15,420 円

【1 級】 5,140 円

6. 申込方法

検定協会が定める「申込書」に必要事項を記入し、受験料の振込証明等を添付の上、検定協会事務局あてに郵送で申し込む。申込書は全国農業会議所・日本農業技術検定ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ（https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/）からﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞする。

7. 受験料振込先等

各自で受験料を指定口座に振り込む。送金後にｷｬﾝｾﾙ等が発生しても受験料は返金しない。振込手数料は受験者の負担とする。

8. 合格基準

【2 級】基本操作 7 割、安全操作 8 割を基準として合否を判定する。また、2 級実技試験免除規定の適合者は 2 級合格とみなす。

【1 級】7 割を基準として合否を判定する。

9. 試験結果等通知

【2 級】学科試験結果通知に併せて平成 30 年 1 月中旬に、成績表と合格証等を各自に送付する。

2 級実技試験免除規定の適合者については、所定の申請書類を審査 し、審査結果と合格証等を各自に送付する。

【1 級】学科試験結果通知に併せて平成 30 年 1 月中旬に、成績表と合格証等を各自に送付する。

10. 実施主体

日本農業技術検定協会（事務局：一般社団法人全国農業会議所）

〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8

TEL：03-6910-1126 FAX：03-3261-5131

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/

ﾒｰﾙ：kentei@nca.or.jp

3. 日本農業技術検定の概要

(1) 日本農業技術検定とは

日本農業技術検定は、我が国の農業現場への新規就農のほか、農学系大学への進学、農業生産法人や関連企業等への就職を目指す学生や社会人を対象として農業知識や技術の修得水準を客観的に把握し、教育研修の効果を高めることを目的として平成 19 年度から実施している農業専門の全国統一の試験制度です。

農林水産省と文部科学省の後援を得ています。

(2)検定の種類

学科試験区分は検定のﾚﾍﾞﾙに応じて 1 級･2 級･3 級の 3 つの種類があります。また、誰もが受験できる学科試験と一定の要件が必要な実技試験(1 級･2 級のみ)があります。

【3 級】農作業の意味が理解できる入門ﾚﾍﾞﾙ

【2 級】農作物の栽培管理等が可能な基本ﾚﾍﾞﾙ

【1 級】農業の高度な知識･技術を習得している実践ﾚﾍﾞﾙ

※具体的な出題範囲は、日本農業技術検定協会のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等で公表しています
https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/

※合格基準は、【3 級】は 100 点満点の原則 60%以上、【2 級】100 点満点 の原則 70%以上、【1 級】120 点満点の原則 70%以上です。

(3)受験申込方法

個人で申し込む一般受験と、学校、団体･企業などで一括して申し込む団体受験があります。いずれもｲﾝﾀｰﾈｯﾄ(https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/)で申し込みます。

(4)受験料

平成 30 年度受験料は以下のようになります。団体受験は 5 人以上の受験者が必要です。

	一般受験	団体受験	団体受験(学生割引)
【3 級】	3,080 円	2,570 円	1,540 円
【2 級】	4,110 円	3,290 円	1,540 円
【1 級】	5,140 円	4,110 円	3,080 円

*団体受験の学生割引は、農業高校、農業者大学校、専門学校、大学の生徒･学生に適用する。

(5)合格のﾒﾘｯﾄ

農業大学校や農学系大学の一部では、合格者に対して推薦入学枠を設けたり、入学金等の減免の措置を講じているところがあります。JA･農業生産法人などでは職員も業務遂行上のｷｬﾘｱ資格として、また一部大学では農場実習の補完として本検定が活用されています。新規就農希望者にとっては農業法人等への就農のｱﾋﾟｰﾙともなり、雇用就農者においては営農における研修成果として活用されています。

(6)試験内容

日本農業技術検定は、学科試験と実技試験から構成されています。学科試験は誰もが受験でき、学科試験(1 級･2 級)だけの受験も可能です。3 級は学科試験だけしかありません。

「

日本農業技術検定」の制度設計

日本農業技術検定協会

等級	1 級	2 級	3 級
想定	農業の高度な知識･技術を	農作物の栽培管理等が可能な	農作業の意味が理解できる入
ﾚﾍﾞﾙ	習得している実践ﾚﾍﾞﾙ	基本ﾚﾍﾞﾙ	門ﾚﾍﾞﾙ
試験方法	学科試験+実技試験	学科試験+実技試験	学科試験のみ
学科受検資格	なし	なし	なし
主な受験者	農業大学校生､大学生､J A 営農指導員	農業大学校生､農業高校生､大学生､JA 営農指導員	農業高校生､農の雇用研修生､JA 一般職員
学科試験出題範囲	共通:農業一般	共通:農業一般	共通:農業基礎
	+ 選択:作物､野菜､花卉､果樹､畜産､食品から	+ 選択:作物､野菜､花卉､果樹､畜産､食品から	+ 選択:栽培系､畜産系､食品系､環境系から 1 科目選択
	1 科目選択	1 科目選択	
学科試験問題数	学科 60 問（共通 20 問､選択 40 問 ）	学科 50 問（共通 15 問､選択 35 問）	50 問（共通 30 問､選択 20 問）選択科目 20 問のうち 5 問は 10 の中から選択､環境系の 5 問は種類(造園､農業土木､林業)から 1 つを選択
学科試験回答方式	ﾏｰｸｼｰﾄ方式（5 者択一）	ﾏｰｸｼｰﾄ方式（5 者択一）	ﾏｰｸｼｰﾄ方式（4 者択一）
学科試験試験時間	90 分	60 分	40 分
学科試験合格基準	120 点満点中 70%以上	100 点満点中 70%以上	100 点満点中 60%以上
実技試験受検資格	受験資格あり※1	受験資格あり※2	なし
実技試験出題範囲	専門科目から 1 科目選択す る生産要素記述試験(ﾍﾟｰ ﾊﾟｰﾃｽﾄ)を実施	乗用ﾄﾗｸﾀ､歩行型ﾄﾗｸ ﾀ､刈り払い機､背負い式防 除機から 2 機種を選択し､ほ 場での実地研修試験	なし-

※1:　1 級の学科試験合格者で 2 年間以上の就農経験を有する者又は､検定協会が定 める事項に適合する者(JA 営農指導員､普及指導員､大学等付属農場の技術 職員､農学系大学生で農場実習単位を取得している場合も就農経験と同等と見 なします)。

※2:　2 級の学科試験合格者で 1 年以上の就農経験を有する者。なお､農業高校･農 業大学校など 2 級実技水準に相当する内容を授業などで受講した者、JA 営 農指導員､普及指導員､大学等付属農場の技術職員､学校が主催する任意の講 習会を受講した者は 2 級実技の免除規定が適用できます。

(7)試験領域と試験問題 試験領域は 3 級､2 級､1 級で決まっており､その内容は HP で公表しています。 具体的な試験問題は一部を HP で例示してありますが､3 級･2 級試験問題については過去問題集が全国高等学校長会や全国農業会議所から出版されています。3 級､2 級 はﾃｷｽﾄも出ています。

1 級試験問題は現在市販されておりませんので､必要な方は氏名､送付連絡先を明記 して全国農業会議所(ﾒｰﾙ:kentei@nca.or.jp)にお申し込みください(HP の｢問題集･事例｣参照)。ｺﾋﾟｰして実費(2,000 円/年度)にて郵送いたします。

(8)試験結果

試験問題の正答表は試験後 HP で公表いたします。

4. 団体受験の要件

(1) 要件

①すべての級を合わせた受験者が合計 5 名以上であること。
②試験会場を実施団体で準備・提供すること。
③試験当日は、試験官として 1 名以上(可能な限り 1 教室 2 名)で担当すること。
④日本農業技術検定試験実施要領に基づき当技術検定を厳正公正に実施できること。
⑤試験会場として知り得た情報を開示、漏洩しないこと。
⑥試験実施に当たっては、日本農業技術検定協会の指示に従うこと。

注意事項

①受験者が 2・3 級を併願する場合は、同一人物でも 2 名とｶｳﾝﾄします。
②厳正公正に試験を実施するため、試験官は可能な限り 1 室 2 名を配置するようお願いします。

(2) 試験官誓約書の提出

高校・農業大学校等教育機関、都道府県農業会議以外の JA、農業法人等の団体受験の場合、試験官は、就任に当たって次の事項を定めた「誓約書」を日本農業技術検定協会に提出してください。(詳細 11. 試験官)

なお、試験に不正があった場合は、団体受験者全員の合格を取り消すことがあります。

①試験運営ﾏﾆｭｱﾙ等試験に関する規程を遵守すること
②試験問題等を試験実施日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと
③職務上知り得た情報を開示、漏洩しないこと
④試験実施に当たっては、厳正公正に行うこと

注意事項

①誓約書は試験官が複数になる場合でも 1 名の提出でさし支えありません。
②農業高校等教育機関、都道府県農業会議、JA の場合、誓約書の提出は不要です。

(3) 行政財産使用申請書の扱い 会場使用に当たって「行政財産使用申請書」が必要になる場合は、検定協会が申請手続きをします。(詳細 8. 行政財産使用申請書の取り扱い)

5.団体受験(学科試験)の申込方法

(1)ﾛｸﾞｲﾝから申込み完了までの流れ ﾛｸﾞｲﾝから受験申込受付ﾒｰﾙの確認と ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの取得までの流れは、
次のとおりです。

①ﾛｸﾞｲﾝ(「団体新規申込み」画面)
https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/
↓
②ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの入力と個人情報保護方針の確認・同意
↓
③ﾒｰﾙ受信・URL へのｱｸｾｽ、申込手続き
↓
④団体情報の入力と確定 ㋐団体基本情報、㋑試験官報酬、行政財産使用申請書、請求書発行の有無ﾁｪｯｸ

*団体登録ﾒｰﾙの確認(ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの取得) 団体登録の完了後、操作を中断しても、団体登録ﾒｰﾙが登録ｱﾄﾞﾚｽへ送信されて、ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを取得できます。 なお、申込みは、受験者名を登録しないと完了しませんので、後ほど必ず受験者名を入力してください。その場合取得した ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞで、ﾛｸﾞｲﾝしま す。
「団体新規申込み」から再度同じ操作をすると、団体が二重に登録されますのでご注意願います。
↓
⑤受験者名簿の登録
ⅰ受験者の登録
ⅱ受験者の一括登録
ⅲ2 級実技試験の免除
ⅳ受験者の確定
↓
⑥受験申込受付ﾒｰﾙの確認と ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの取得

(2)ﾛｸﾞｲﾝ

①「日本農業技術検定　一般･団体　申込ﾌｫｰﾑ」画面へ入ります

申込みﾌｫｰﾑ画面への入り方　ⅰ次の URL へｱｸｾｽします。

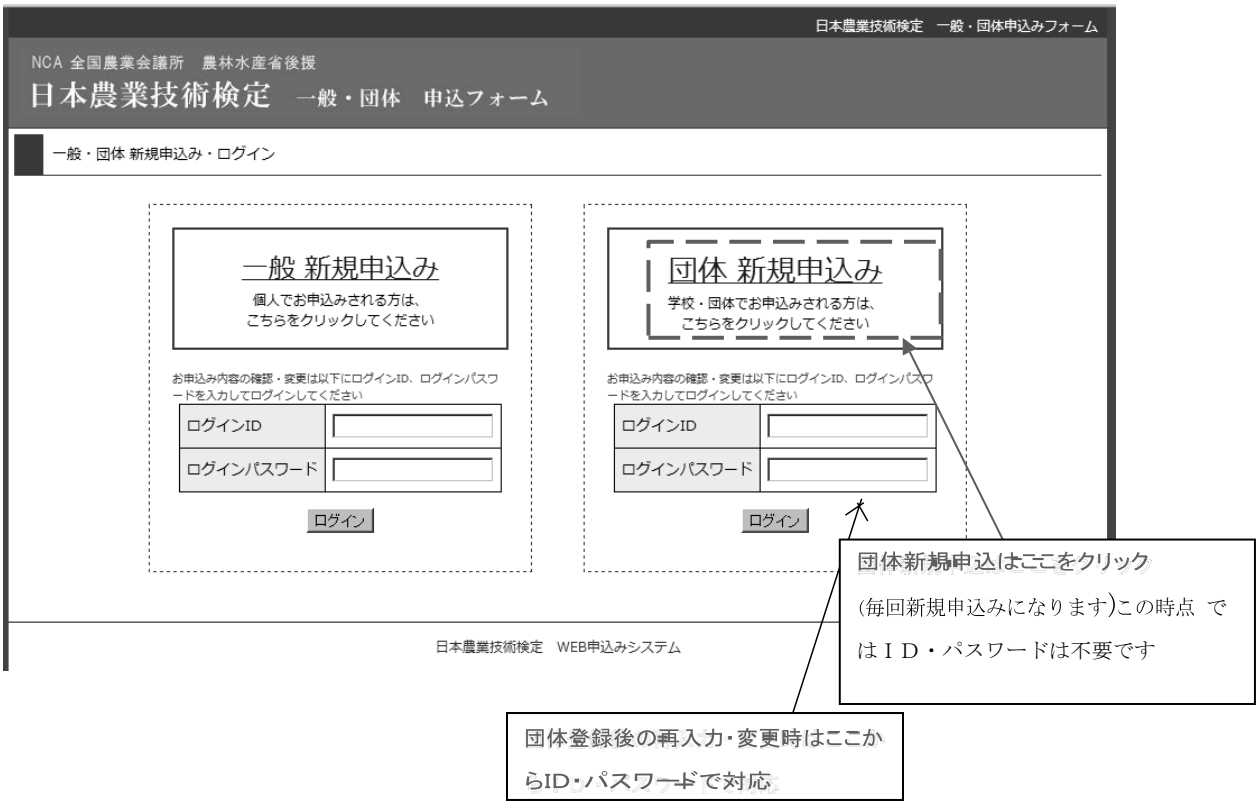
https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/

ⅱ日本農業技術検定ﾄｯﾌﾟﾍﾟｰｼﾞから下のﾒﾆｭｰ「申込方法」をｸﾘｯｸし、「申込方法(団体受験)」のﾍﾟｰｼﾞにある「申し込みﾌｫｰﾑへ」をｸﾘｯｸ　します。

②新規に申込み手続きをする時は、まず「団体新規申込み」をｸﾘｯｸします。注意事項

*新規申込みでは、ﾛｸﾞｲﾝ ID、ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞからのﾛｸﾞｲﾝはできません。(3)で説明する操作で、ﾛｸﾞｲﾝ ID、ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを取得した後、申込み内容の確認や受験者名等を変更するときに、これらを使ってﾛｸﾞｲﾝしま　す。

*ﾛｸﾞｲﾝ ID、ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞは、毎回試験ごとに各団体へ割り振ります。過去のものは使用できませんので、新しいﾛｸﾞｲﾝ ID、ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを取　得してください。



(3)ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの入力･確認と個人情報保護方針の確認

①ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの入力/個人情報方針確認画面へ入ります。「団体新規申込み」をｸﾘｯｸすると、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの入力/個人情報方針　確認画面に入ります。

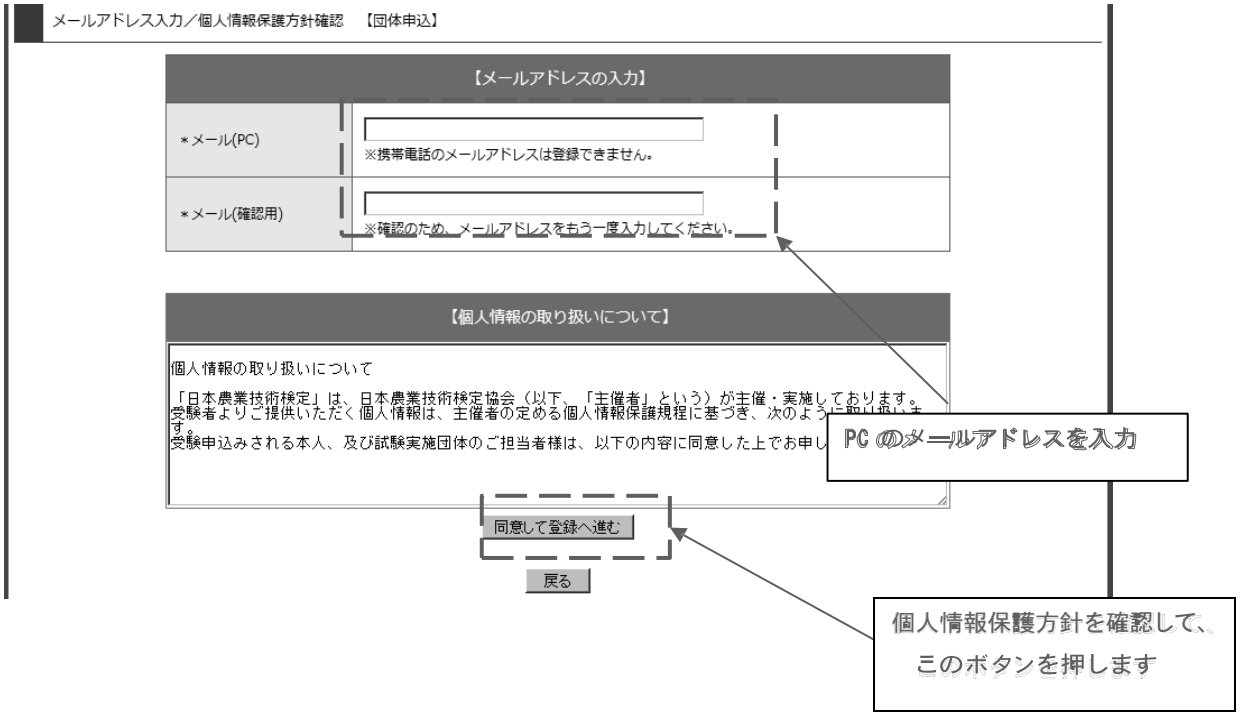
②ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを 2 回入力します。

・注意事項

*団体受験の場合、可能な限り日常業務で利用しているﾊﾟｿｺﾝのﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　を入力してください。登録したﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽに検定協会から「ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ確　認ﾒｰﾙ」が直ちに送信されます。

*携帯電話のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽは登録できません。

③次に個人情報の取り扱いについて、「同意して登録へ進む」をｸﾘｯｸします。



④入力したﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽへ、直ちに「ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを確認した」とのﾒｰﾙが　検定協会から送信されます。ﾒｰﾙが受信できない場合は、操作に問題がある、あるいは迷惑ﾒｰﾙとしてﾌﾞﾛｯｸされている可能性もあります。再度同様の操作をしてください。それでもﾒ ｰﾙが受信できない時は検定事務局にお問い合わせください。

⑤申込み手続きは、送信されたﾒｰﾙ文に記載された URL へｱｸｾｽして行います。URL をｸﾘｯｸすると、団体情報登録画面が開きます。

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを確認しました。 以下の URL へｱｸｾｽして、引き続きお申込み手続きを行ってください。

https://nouken-info.net/dantai/splace.php?sid=XaSIlSthzGdfF3YWKY_eyDmzMEsIag9LQl0cVDfmRfw

(4)団体情報の入力と確定

①ﾒｰﾙ文中の URL をｸﾘｯｸすると、団体情報登録画面が開きます。

②必要事項を入力します。必須項目に入力漏れがあると、次には進めません。

学校・団体名	(必須)	
団体種別	(必須)	該当する項目を選択
受験地(県番号)	(必須)	都道府県名を選択
会場住所	(必須)	〒番号は数字のみ入力
会場電話	(必須)	
会場 FAX 試験		
担当者氏名	(必須)	
試験担当者連絡先電話番号		

資材送付先情報

※会場住所と資材(受験票、試験試材、合否結果)送付先が異なる場合は送付先を入力してください。

試験資材送付先名	(必須)
試験資材送付先住所	(必須)
試験資材送付先電話番号	(必須)
試験資材送付先 FAX 試験資材送付先	
担当者氏名	(必須)
集荷希望有無	(必須)
集荷時間	
備考欄	検定事務局への連絡事項等を記入してください

・注意事項

*資材送付先情報は、「会場情報を資材情報へｺﾋﾟｰする」をｸﾘｯｸすると、入力した会場情報がｺﾋﾟｰされます。

*集荷時間は、「○時に集荷してほしい」との時間指定はできません。

*集荷希望有無で、「無」を選択した場合は、最寄りのﾔﾏﾄ営業所またはﾔﾏﾄ便の取扱いのあるｺﾝﾋﾞﾆへ団体が直接持ち込むことになります。

*必ずご依頼主控えをもらい保管してください。

③確認事項をﾁｪｯｸします。 試験官報酬 行政財産使用申請書 請求書発行

注意事項

*確認事項は当初、いずれも「不要」になっていますので、必要な場合には、「必要」にﾁｪｯｸを入れてください

*試験官報酬は、学科試験終了後に、「必要」とﾁｪｯｸした団体へ「申請書」等の必要書類を郵送します。

*行政財産使用申請書は、「必要」とﾁｪｯｸした学校へ、検定協会が定めた様式の申請書を送付します(詳細は 8.行政財産使用申請書の取り扱い)。都道府県が定めている申請書様式で申請が必要な場合には、備考にその旨を書き、検定事務局へ所定 の申請書を送付してください。

*原則として請求書は発行しません。受験料の請求書が必要な団体は、所定の請求書 を送付します。備考に、請求書の宛名を記入してください。記入がない場合は、団体 名となります。

なお、領収書は受験票送付時に、団体へ送付します。

④必須項目をもれなく入力して、確認画面へ進み、団体登録を確定します。

⑤団体登録を確定後、会場情報登録完了画面が表示されます。これで団体登録を受け付けました。次に「受験者名簿の登録へ」をｸﾘｯｸし、受験者名簿の登録へ進み ます。

⑥ここで操作を中断し、受験生登録は時間をおいてから行うことも可能です。団体登録の完了後、団体登録ﾒｰﾙが送信されて、ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが取得できます。 次回からはその ID 等を使ってﾛｸﾞｲﾝします。

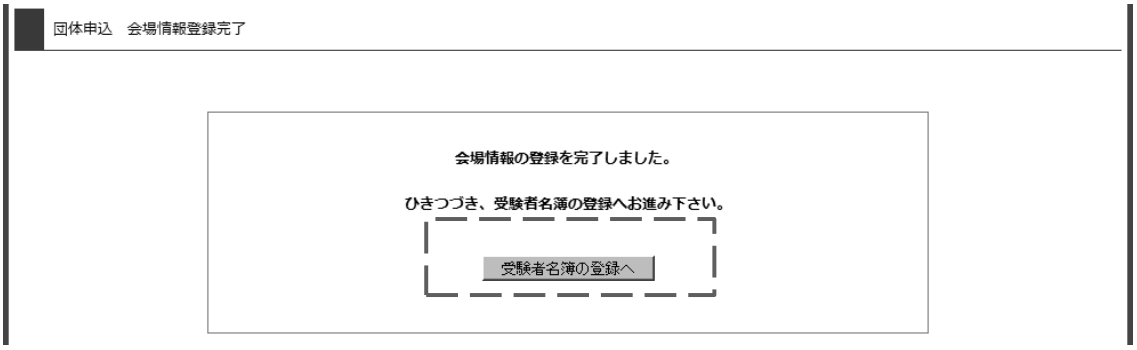
・注意事項

「団体 新規申込み」を再度ｸﾘｯｸし、同じ操作をすると、新しい受け付け となり、二重登録されます。注意してください。二重登録した場合にはｷｬﾝｾﾙ操作をしてください。

(5)受験者名簿の登録

①受験者の登録

ⅰ「受験者名簿の登録へ」をｸﾘｯｸします。

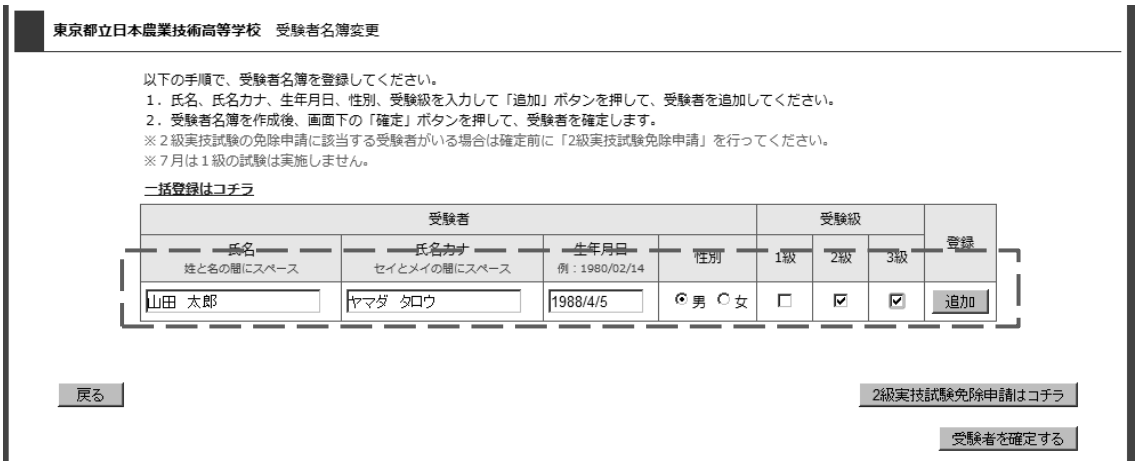


ⅱ受験者名簿を登録します。一人ずつ登録する方法と、一括登録の方法がありま　す。

・注意事項

使用できる漢字は JIS 第２標準までで、外字対応はしていません。類似の漢字を入力してください。学校等で作成した外字を入力すると、受験票や合格証等は●(黒まる)になります。外字が必要な方は別途事務局に連絡ください。

ⅲ一人ずつの場合、入力ﾎｰﾑに氏名等の必要事項を入力します。 入力ﾎｰﾑに、氏名(姓と名の間にｽﾍﾟｰｽ)、氏名ｶﾅ(姓と名の間にｽﾍﾟｰｽ)、生年月日(西暦)、性別(ﾁｪｯｸ)、受験級(ﾁｪｯｸ)を入力して、「追加」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸします。受験者数分同じ操作をします。追加した受験　者は、名前が入力ﾌｫｰﾑの下に表示されます。



一括登録はコチラ

受験者				受験級			登録
氏名 姓と名の間にスペース	氏名カナ セイとメイの間にスペース	生年月日 例：1980/02/14	性別	1級	2級	3級	
			◉男 ○女	☑	☑	☑	追加

申込	氏名	氏名カナ	生年月日	性別	1級	2級	3級	変更	削除
未	山田　太郎	ヤマダ　タロウ	1988/4/5	男	×	○	○	変更	削除
未	鈴木　花子	スズキ　ハナコ	1988/6/7	女	×	×	○	変更	削除
未	木村　次郎	キムラ　ジロウ	1987/2/3	男	○	○	○	変更	削除

②受験者の一括登録　受験者が多い場合は、一括登録を利用できます。

ⅰ「一括登録はｺﾁﾗ」をｸﾘｯｸします。

ⅱｴｸｾﾙﾌｧｲﾙの sample.xls をﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞして、必要なﾃﾞｰﾀ(姓、名、 姓のｶﾅ、名のｶﾅ、生年月日、性別、受験級)を入力します。

ⅲﾃﾞｰﾀの部分のみをｺﾋﾟｰして、ﾃｷｽﾄｴﾘｱに貼り付けてください。

ⅳ貼り付け後、「ｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸすると、一括で名簿が登録さ れます。

以下の手順で、受験者名簿を登録してください。
1．氏名、氏名カナ、生年月日、性別、受験級を入力して「追加」ボタンを押して、受験者を追加してください。
2．受験者名簿を作成後、画面下の「確定」ボタンを押して、受験者を確定します。
※２級実技試験の免除申請に該当する受験者がいる場合は確定前に「2級実技試験免除申請」を行ってください。
※７月は１級の試験は実施しません。

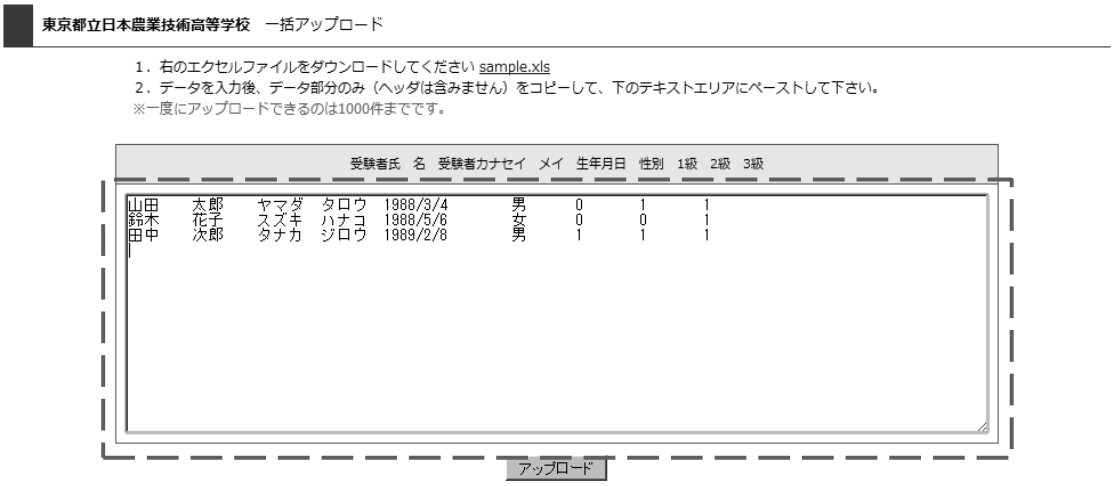
一括登録はコチラ

受験者				受験級			登録
氏名 姓と名の間にスペース	氏名カナ セイとメイの間にスペース	生年月日 例：1980/02/14	性別	1級	2級	3級	
			◉男 ○女	☑	☑	☑	追加

J7

データ行のみ(3行目以降)をコピーしてください

姓 全角 (例 日本)	名 全角 (例 太郎)	セイ 全角カナ (例 ニホン)	メイ 全角カナ (例 タロウ)	生年月日 半角 西暦 (例 1980/3/14)	性別 全角 (男 or 女)	1級受験 半角 (1=受験、0=受験しない)	2級受験 半角 (1=受験、0=受験しない)	3級受験 半角 (1=受験、0=受験しない)
山田	太郎	ヤマダ	タロウ	1988/3/4	男	0	1	1
鈴木	花子	スズキ	ハナコ	1988/5/6	女	0	0	1
田中	次郎	タナカ	ジロウ	1989/2/8	男	1	1	1



③2 級実技試験の免除

ⅰ2 級の受験者がいて、2 級実技試験免除対象校あるいは指定学科になっている　場合には、免除申請の操作を行います。

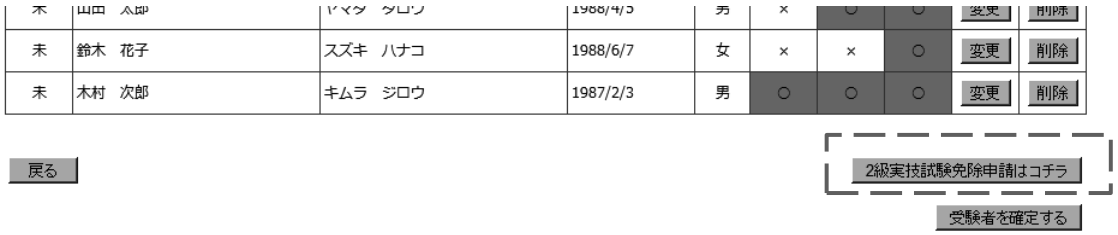
ⅱ「2 級実技免除申請はｺﾁﾗ」を押すと、2 級受験者のﾘｽﾄが表示されます。 受験者ごとに、「学年」を入力し、ﾘｽﾄの中から受験者が在籍する学科、ｺｰ　ｽを選択します。

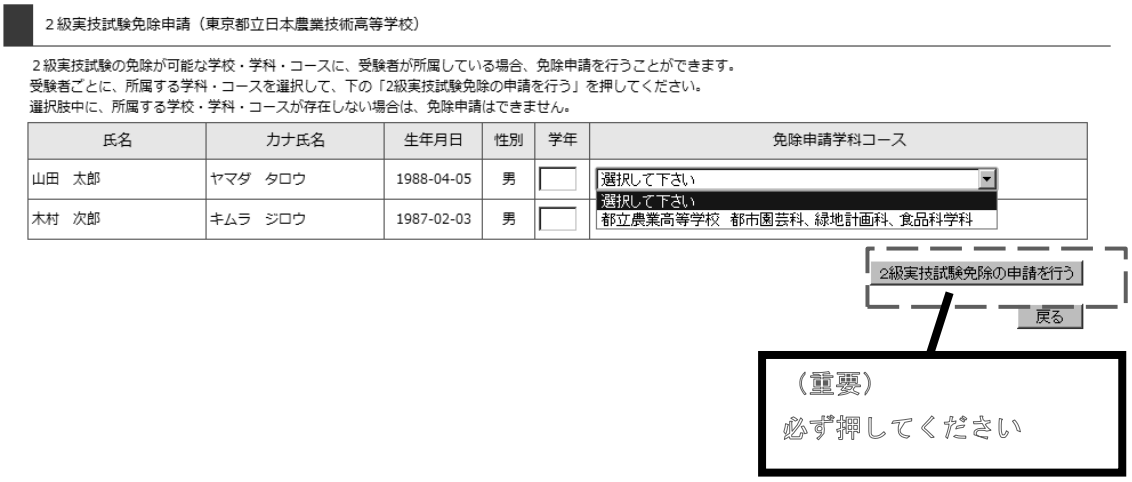
ⅲ　終了したら、「2 級実技試験免除申請を行う」ﾎﾞﾀﾝを押します。

ⅳ　登録されると、2 級の欄に「○免」と表示されます。

注意事項

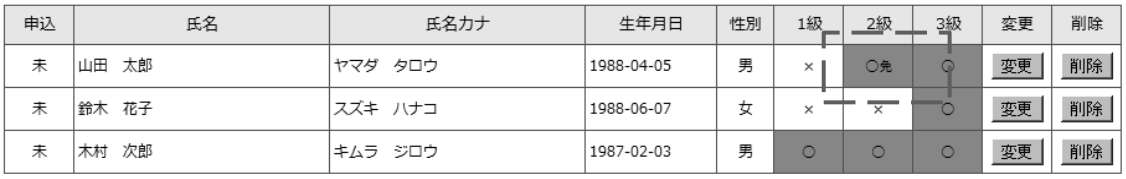
*免除申請をしている学校・学科・ｺｰｽが選択肢に表示されます。ここに載って　いない場合は、免除申請がされていませんので、免除申請を行ってください。（詳　細 7.2 級実技免除の申請）





色が黄色くなった受験者は免除申請されています。

受験者登録画面に戻ると､2 級の欄に｢○免｣と表示されます。



④受験者の確定

ⅰ受験者名の入力が終了したら､画面下の｢受験者を確定する｣をｸﾘｯｸしま　す。

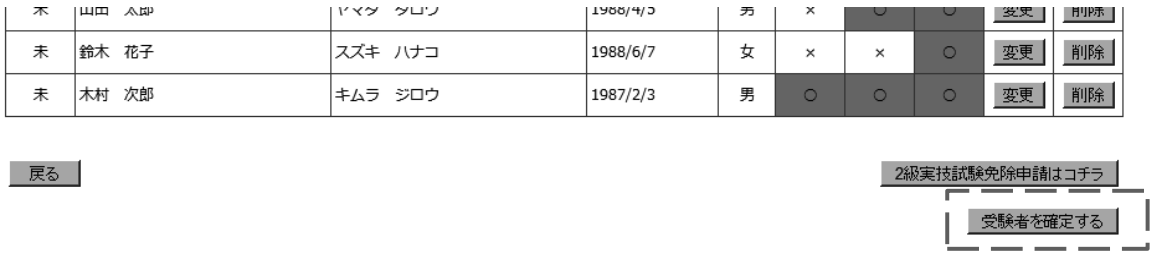
ⅱ確認画面になりますので､受験者数､受験料を確認します。

ⅲよければ画面下の｢受験者を確定する｣を押してください。

ⅳ｢受験者を確定する｣を押すと､｢登録を完了しました｣が表示され､画面下　が｢登録済｣になります。

注意事項

*ⅲの｢受験者を確定する｣をｸﾘｯｸしないと､受験者は確定していませんので、　注意してください。｢登録済｣が表示されていることを確認してください。



受験内容を確認して、下の「受験者を確定する」を押してください

受験級	受験者	受験料
1級	1名	￥3,000
2級	2名	￥3,000
3級	3名	￥4,500
合計		**￥10,500**

振込先　支払期限：2012-06-11 23:59:00

振込先名	振込先番号	入金状況
みずほ銀行	639-	未入金

受験者を確定する

戻る

（重要）これを押して入力情報が完了です
（必ず押してください）

登録を完了しました。

受験内容

受験級	受験者	受験料
1級	1名	￥3,000
2級	2名	￥3,000
3級	3名	￥4,500
合計		**￥10,500**

振込先　支払期限：2012-06-11 23:59:00

振込先名	振込先番号	入金状況
みずほ銀行	639--	未入金

登録済

ここを確認してください

⑤受験申込受付ﾒｰﾙの確認・ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの取得 受験者の確定と同時に、受験申込受付ﾒｰﾙが登録したﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽへ送信さ れますので、内容を確認してください。

・ﾒｰﾙの内容

〇級別の受験者数と合計人数　級別の受験料額と合計額
〇振込先銀行口座
〇支払期限
〇ﾛｸﾞｲﾝ ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

注意事項

*銀行口座番号は、申込者(団体)ごとに毎回、口座番号が違うのでご注意願います。必ずﾒｰﾙに記載されている口座番号へ振り込んでください。
*また口座番号は、当該試験のみに割り振った番号で、試験ごとに変わります。過 去のものは使用できません。
*振込先は、みずほ銀行ﾓｸﾚﾝ(又はﾕﾘﾉｷ)支店(検定振込専用)です。

(送信例) 東京都立日本農業技術高等学校様

以下の受験申込を受付ました。

1 級 ： 1 名 ： ¥3,080

2 級 ： 2 名 ： ¥3,080
3 級 ： 3 名 ： ¥4,620
計 ： 6 ： ¥10,780

以下の銀行口座へ、お支払いをお願いします。

振込先銀行口座(この口座は今回限りの口座です)
みずほ銀行 ﾓｸﾚﾝ支店(639)
普通 0000000
一般社団法人全国農業会議所

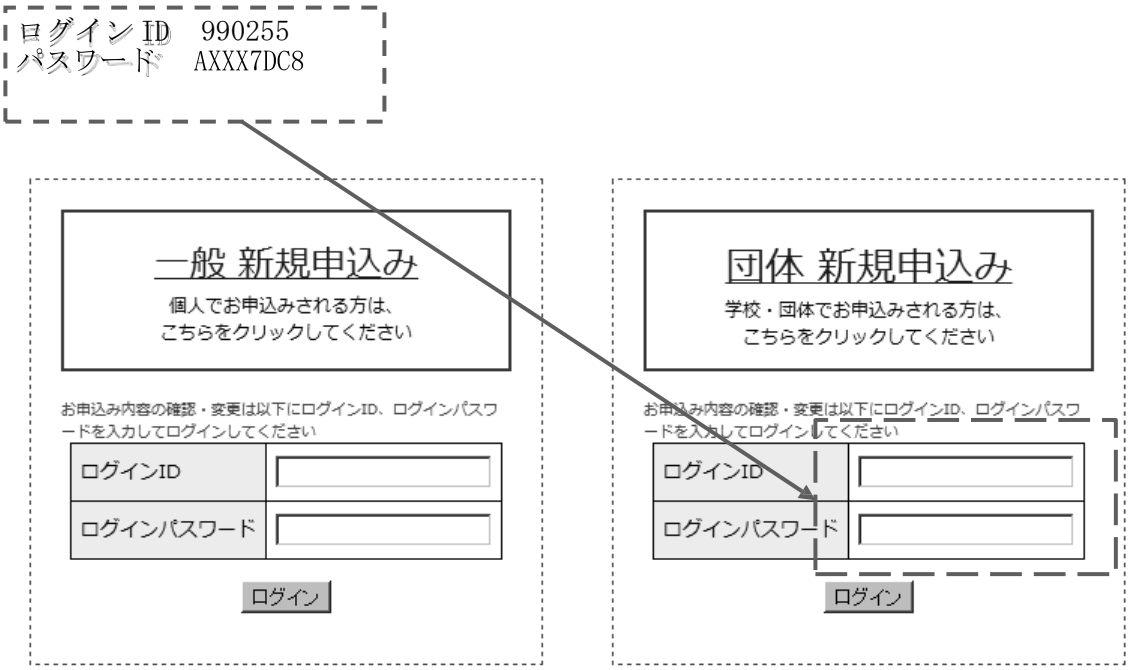
お支払金額:10,780 円 お支払期限:2017/0/0

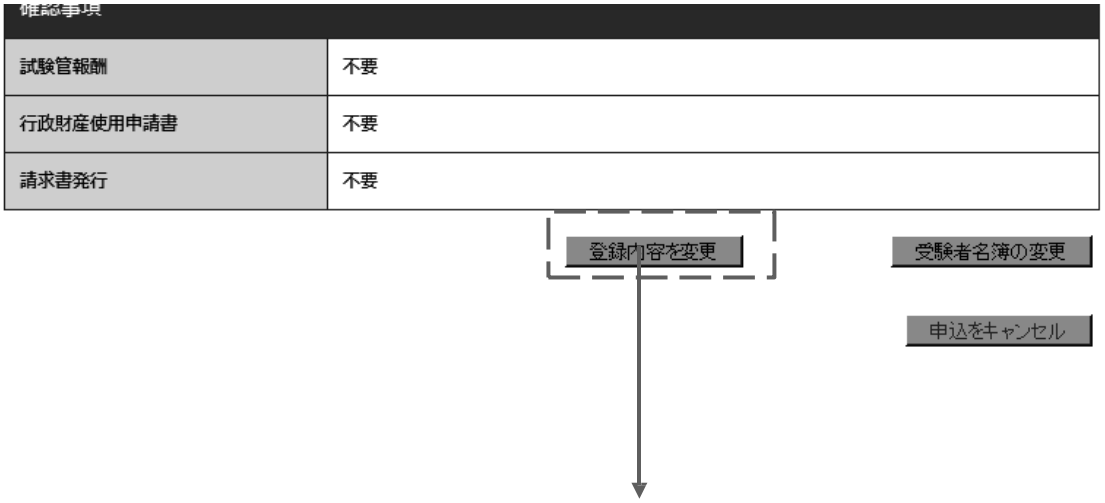
(6) 登録内容の確認・変更の操作

①「一般・団体申し込みﾌｫｰﾑ」の画面を開き、送信された受験申込受付ﾒｰﾙ に記載された ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力して、ﾛｸﾞｲﾝを押し、確認画面に入ります。

②登録内容に変更がある場合は、画面下の「登録内容を変更」を押して、入力画面 に入ります。

③変更する項目を訂正します。





学校・団体情報	
申込メールアドレス	kaki@housaku.net
学校・団体名称（試験会場名称）	東京都立日本農業技術高等学校
団体種別	専門学校
受験地	東京都
会場住所	〒1640001 東京都千代田区二番町９－８

(7) 受験者の追加・変更の操作

①「一般・団体申し込みﾌｫｰﾑ」の画面を開き、送信された受験申込受付ﾒｰﾙに 記載された ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力して、ﾛｸﾞｲﾝを押し、確認画面に入ります。

②画面下の「受験者名簿を変更」ﾎﾞﾀﾝを押して、入力画面に入ります。

③受験級や氏名を訂正する場合は、「変更」ﾎﾞﾀﾝを押して、変更してください。名 簿を削除する場合は、「削除」ﾎﾞﾀﾝを押してください。

④受験者を追加する場合は、入力ﾌｫｰﾑに氏名等の必要事項を入力してください。 新しく追加した受験者は、白で表示され、申し込みの項目が「未」になります。この ままでは、受験申込みはされていないので、「受験者を確定する」ﾎﾞﾀﾝを必ず押し て、受験者の確定を行ってください。申込の項目が「済」になります。

注意事項

*変更・追加の操作は、申込み受付期間内に行ってください。申込期日がすぎると、閲覧のみになり、変更の入力操作はできません。

*受験者名簿の変更・追加・削除は、受験料の振り込み前に必ず行ってください。 検定事務局が入金を確認した後は、ﾛｸﾞｲﾝしても入力操作はできません。

*受験料振り込み後に受験生の追加等が発生した場合には、検定事務局へ連絡してください。

受験者				受験級			登録
氏名 姓と名の間にスペース	氏名カナ セイとメイの間にスペース	生年月日 例：1980/02/14	性別	1級	2級	3級	
			◉男 ○女	□	□	□	追加

申込	氏名	氏名カナ	生年月日	性別	1級	2級	3級	変更	削除
済	山田　太郎	ヤマダ　タロウ	1988-04-05	男	×	○免	○	変更	削除
済	鈴木　花子	スズキ　ハナコ	1988-06-07	女	×	×	○	変更	削除
済	木村　次郎	キムラ　ジロウ	1987-02-03	男	○	○	○	変更	削除

戻る　　2級実技試験免除申請はコチラ

申込	氏名	氏名カナ	生年月日	性別	1級	2級	3級	変更	削除
済	山田　太郎	ヤマダ　タロウ	1988-04-05	男	×	○免	○	変更	削除
済	鈴木　花子	スズキ　ハナコ	1988-06-07	女	×	×	○	変更	削除
済	木村　次郎	キムラ　ジロウ	1987-02-03	男	○	○	○	変更	削除
未	田中　三郎	タナカ　サブロウ	1989/4/6	男	×	×	○	変更	削除

戻る　　2級実技試験免除申請はコチラ

受験者を確定する

注）必ず押して下さい。

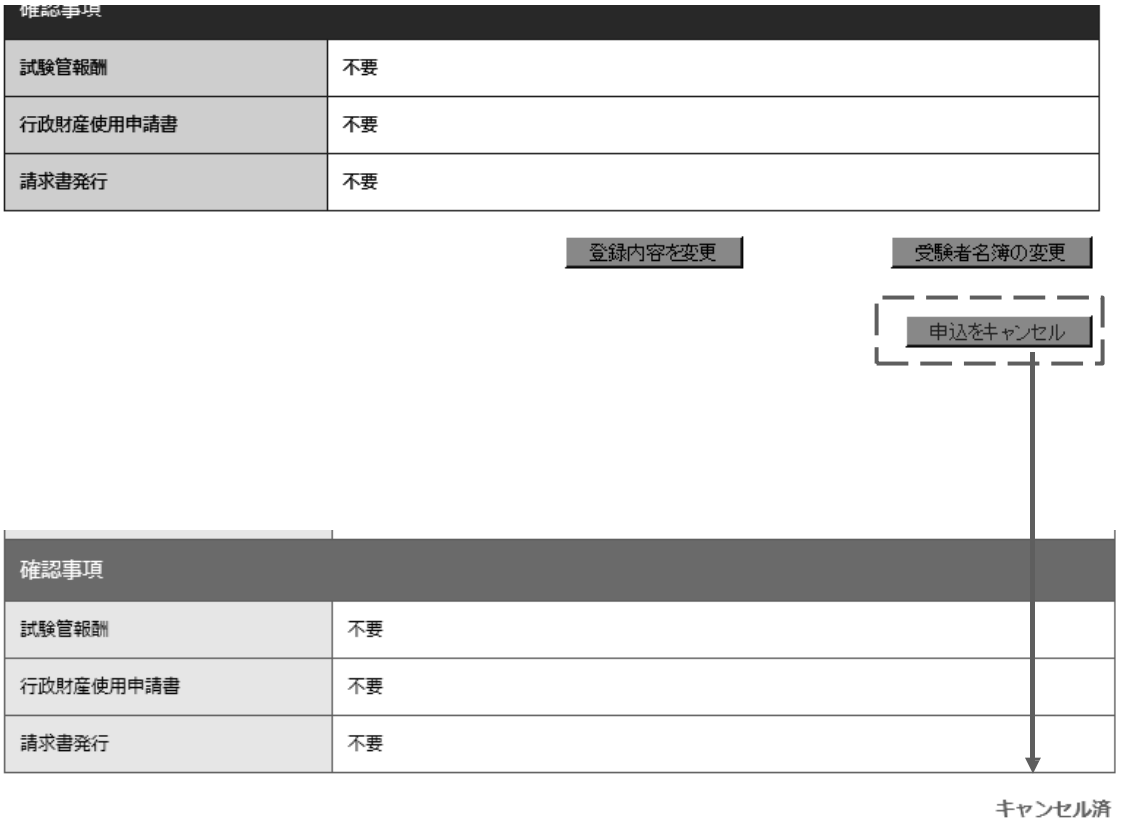
(8)ｷｬﾝｾﾙ操作

①「一般・団体申し込みﾌｫｰﾑ」の画面を開き、送信された受験申込受付ﾒｰﾙ に記載された ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力して、ﾛｸﾞｲﾝを押し、確認画面に入ります。

②確認画面下の「申込をｷｬﾝｾﾙ」ﾎﾞﾀﾝを押すと、申込みがｷｬﾝｾﾙされます。 注意事項

*ｷｬﾝｾﾙした後の復活はできません。申込みが必要になった場合は再度申込みを行ってください。

*受験料の入金後のｷｬﾝｾﾙは、原則として返金しません。



6. 受験料の支払方法

(1) 受験料

	一般受験	団体受験	団体受験(学生割引)
【3 級】	3, 080 円	2, 570 円	1, 540 円
【2 級】	4, 110 円	3, 290 円	1, 540 円
【1 級】	5, 140 円	4, 110 円	3, 080 円

*団体受験の学生割引は、農業高校、農業者大学校、専門学校、大学の生徒・学生に適用します。

(2) 受験料支払方法

①団体受験は、実施団体が受験生の受験料をとりまとめて、一括して指定口座に振り込みます。

②請求金額および振込先銀行口座は、受験受付ﾒｰﾙに記載されています。

振込先銀行:みずほ銀行　ﾓｸﾚﾝ支店(支店番号 639)　普通　〇〇〇　名義人　一般社団法人全国農業会議所(ｲｯﾊﾟﾝｼｬﾀﾞﾝﾎｳｼﾞﾝｾﾞﾝｺｸﾉ　ｳｷﾞｮｳｶｲｷﾞｼｮ)

振込人:振込口座番号で識別します

注意事項

*口座番号は、申込団体ごとに違います。口座番号によって入金管理をしているので、必ずﾒｰﾙに記載されている口座番号へ振り込んでください。

*口座番号は、当該試験のみに割り振った番号で、試験ごとに毎回変わります。1　回目の口座番号と 2 回目の口座番号は同じ団体でも変わります。

*団体受験の振込手数料は検定協会が負担しますので、振込手数料を差し引いた金額を振り込んでください。

*送金後、受験生にｷｬﾝｾﾙがあっても、受験料は返金しません。

*支払期限までに振り込みをお願いします。

*領収書は、受験票の送付時に同封します。

*請求書が必要な団体は、団体情報入力時の請求書発行欄に「必要」とﾁｪｯｸをいれてください。

7.2 級実技試験免除の申請

(1)2 級実技免除規定

日本農業技術検定 2 級実技試験免除規定

平 成 2 9 年 2 月
日本農業技術検定協会

2 級実技免除の申請ができる学科・ｺｰｽ、学校および個人の要件と手続きは以下の とおりとする。

Ⅰ 要件

1 指定学科・指定ｺｰｽ 次の要件を満たし、所定の手続きを経た学科・ｺｰｽは、2 級実技試験の免除を付与
した「指定学科」「指定ｺｰｽ」とする。

○ 当該学科・ｺｰｽにおける教育課程上で、2 級実技試験の選択科目別に以下の機種(行程)のうち 2 機種(工程)以上の操作ないし工程を履修していること。

選択科目	2 級実習免除に該当する機種(工程)(2 つ以上履修すること)
作物	乗用ﾄﾗｸﾀ、歩行型ﾄﾗｸﾀ(管理機)、刈り払い機、背負い式・動力防除機、運搬車、田植機、ｺﾝﾊﾞｲﾝ
野菜	乗用ﾄﾗｸﾀ、歩行型ﾄﾗｸﾀ(管理機)、刈り払い機、背負い式・動力防除機、運搬車、自動播種機、接ぎ木ﾛﾎﾞｯﾄ
花卉	乗用ﾄﾗｸﾀ、歩行型ﾄﾗｸﾀ(管理機)、刈り払い機、背負い式・動力防除機、運搬車、自動播種機
果樹	乗用ﾄﾗｸﾀ、歩行型ﾄﾗｸﾀ(管理機)、刈り払い機、背負い式防除機、運搬 車、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ、ｽﾋﾟｰﾄﾞｽﾌﾟﾚｰﾔ
畜産	乗用ﾄﾗｸﾀ、歩行型ﾄﾗｸﾀ(管理機)、刈り払い機、背負い式・動力防除機、運搬車、ふ卵器、搾乳機、ﾛｰﾙﾍﾞｰﾗ
食品	穀類・大豆・ｲﾓ類の加工、野菜の加工、果実の加工、畜産物の加工、発酵食品(みそ・しょうゆ、酒類)の製造、缶詰製造、ﾌﾘｰｽﾞﾄﾞﾗｲ食品製造、ﾚﾄﾙﾄ食品製造

2 指定校 学校のすべての学科･ｺｰｽなどが上記の要件を満たし、所定の手続きを経た学校は、2 級実技試験の免除を付与した「指定校」とする。

3 個人 個人とは以下の(1)~(6)とする。

(1)上記 1 の要件を満たす学科･ｺｰｽおよび学校に属している者(指定学科･指定 ｺｰｽおよび指定校以外)

(2)上記 1 の要件以外で学校等が主催する該当する任意の講習等を修了した者

(3)上記 1 の要件を満たす学科･ｺｰｽおよび学校を卒業または修了した者

(4)1 年以上の実務経験を有する農業者(農業法人の従業員を含む)

(5)1 年以上の実務経験を有する農協の営農指導員および農業改良普及指導員

(6)1 年以上の実務経験を有する大学農場等の技術職員

(7)その他

上記(1)~(6)に該当しない場合で、検定協会の審査によって認められた者

Ⅱ 申請手続き

1 指定学科･指定ｺｰｽおよび指定校の場合

日本農業技術検定協会(以下、検定協会。)が定める様式に必要事項を記入し、教育課程表、年間指導計画、ｼﾗﾊﾞｽ(補習などを含む)等を添付の上、検定協会宛に申請する。なお、教育課程表などに要件Ⅰの 1 にある機種のうち 2 機種以上の機種名が具体的 に表記されていない場合は、当該指定学科等が間違いなく必要機種について講義してい る事を証明する補足説明文書(公文書:学校長印等が押してあるもの)を作成･添付す ること(補足説明文書の様式は特に問わない)。

また、学校の統合や学科変更などで教育課程上に変更が生じたときは、速やかに検定協会へ連絡するとともに、指定学科･指定ｺｰｽおよび指定校の再申請を行うこととする。

2 個人の場合

2 級実技試験免除の認定を求める者は、検定協会が定める様式に必要事項を記入し、必要書類を添付して検定協会宛に申請する。

(1) Ⅰ-1 の要件を満たす学科･ｺｰｽおよび学校に属している者(指定学科･指定 ｺｰｽおよび指定校以外)

所定の様式に必要事項を記入し、在学証明書と教育課程表、年間指導計画、ｼﾗ ﾊﾞｽ(補習などを含む)等を添付して、検定協会宛に申請する。

(2)学校･職業訓練施設等が主催する任意の講習会を修了した者 所定の様式に必要事項を記入し、任意の講習会によりⅠ.1 の機種(行程)のうち 2 機種以上の操作ないし工程を修了している証明書(修了証明書等)を添付の上、 検定協会宛に申請する。

(3)公益社団法人日本農業法人協会が実施する農作業安全基礎研修会を修了した者 所定の様式に必要事項を記入し、「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」の修了証を添付の上、検定協会宛てに申請する。

(4)公益社団法人農民教育協会鯉淵学園農業栄養専門学校等が実施する「新規就農ｷｬ ﾘｱｺｰｽ短期」で 2 機種以上の農業機械の研修を修了、または「ﾁｬﾚﾝｼﾞ！ ﾌｧｰﾑｽｸｰﾙ」を修了した者 所定の様式に必要事項を記入し、修了証を添付の上、検定協会宛てに申請する。

(5) Ⅰ-1 の要件を満たす学科・ｺｰｽおよび学校を卒業または修了した者 所定の様式に必要事項を記入し、卒業証書・卒業証明書または修了証書等を添付して、検定協会宛に申請する。

(6)1 年以上の実務経験を有する農業者(農業法人の従業員を含む)

①個人農家 所定の様式に必要事項を記入し、農業委員会が発行する耕作証明等(または誓約書

(所定の農業機械の使用を約束するもの))を添付して、検定協会宛に申請する。

②農業法人の従業員 所定の様式に必要事項を記入し、要件Ⅰの 1 にある機種のうち 2 機種以上の機種

を使った農作業を実施していることがわかる当該法人の事業概要または年間事業計画書と、申請者本人が 1 年以上の職歴を証明する雇用契約証明書の写し等を添付の上、検定協会宛に申請する。

(7)1 年以上の実務経験を有する農協の営農指導員および普及指導員 所定の様式に必要事項を記入し、所属する組織が発行する証明書(または履歴書)を添付して、検定協会宛に申請する。

(8)1 年以上の実務経験を有する大学農場等の技術職員 所定の様式に必要事項を記入し、所属する組織が発行する証明書(または履歴書)を添付して、検定協会宛に申請する。

(9)その他

所定の様式に必要事項を記入し、必要な書類を添付して、検定協会宛に申請する。

Ⅲ 指定学科・指定ｺｰｽ、指定校の有効期限 指定学科・指定ｺｰｽおよび指定校における実技試験免除の有効期限は、免除申請の許可日から 5 年間とする。なお、学科・ｺｰｽ、教育課程の変更があった場合は無効と し、再度申請する。

Ⅳ 経費 2 級実技免除の申請手数料は 1,000 円(消費税込み)とし、検定協会所定の口座に振り込むこととする。振込手数料は申請者の負担とする。

【振込口座】みずほ銀行 銀座支店 普通預金

【口座番号】2772364

【口座名義】一般社団法人全国農業会議所

日本農業技術検定２級実技試験免除申請書(学校用)

申請年月日　　平成　　年　　月　　日

日本農業技術検定協会　会長
殿

学　校　名
(団　　体　名)　……

ﾌﾘｶﾞﾅ
代表者氏名　……　㊞

ﾌﾘｶﾞﾅ 担当者氏名

送付先住所　〒　……

……

電話番号　……
※平日昼に連絡が可能なもの

日本農業技術検定２級実技検定試験免除規定(以下、免除規定という。)に基づき、下記のとおり２級実技試験の免除を申請します。

記

1　免除申請の理由免除規定Ｉの(　　)
　該当学科、ｺｰｽ、学校名
　(　　)
　内容
　(　　)
2　添付書類
　(　　)
3　申請手数料の振込確認ができる書類

〔留意　事項〕

1　「1 免除申請の理由」 免除申請の理由の欄には、免除規定の該当する番号(Ⅰの(1)または(2))と該
当する学科、ｺｰｽ、学校名を記載してください。

2　「2 添付書類」
免除規定Ⅱの 1 に該当する場合は、当該学校の教育課程表または年間指導計画(任意　の講習会の場合はｶﾘｷｭﾗﾑ等)を添付してください。

3　申請手数料と手数料の振込確認ができる書類について
2 級実技試験免除にかかる審査および 2 級合格証の発行にかかる手数料は、1000 円とします。なお、振込手数料は申請者のご負担とさせていただきます。
以下の口座にお振り込みいただいた際の明細の写し、または通帳(必要ヵ所のみ)等　の写しを添付してください。(ご入金を証明できるもの:振込金受領証、ATM 利用明　細等)

4　振り込み口座
【振込口座】みずほ銀行　銀座支店　普通預金
【口座番号】2772364
【口座名義】一般社団法人全国農業会議所

5　有効期限 実技試験免除の有効期限は免除申請の許可が降りた日から 5 年間有効とする。なお、学
科・ｺｰｽ、教育課程等の変更があった場合は無効とし、再度申請する事とする。

6　申請書送付先(郵送のみ受付可) 日本農業技術検定協会(事務
局:一般社団法人全国農業会議所)
〒102-0084
東京都千代田区二番町 9-8 中央労働基準協会ﾋﾞﾙ 2 階
TEL:03-6910-1126
FAX:03-3261-5131

※2 級学科試験合格後に免除申請をすると、1　人ずつの手続きが必要になりますので、 あらかじめ学校として当免除申請をすることをお勧めいたします。

日本農業技術検定２級実技試験免除および２級合格証発行にかかる申請書（個人用）

申請年月日　　平成　　年　　月　　日

日本農業技術検定協会　会長　殿

ﾌﾘｶﾞﾅ
氏　　名　　㊞

生年月日　　年　　月　　日生

所属機関名
（学校名）

住　　所　〒

電話番号
※平日昼に連絡が可能なもの

日本農業技術検定２級実技検定試験免除規定（以下、免除規定という。）に基づき、下 記のとおり２級実技試験の免除および２級合格証の発行を申請します。

記

1　２級学科合格証明書の番号・受験年度
（受験番号：受験年度：平成年回）

2　免除申請の理由免除規定Ｉの３の（　　）

3　添付書類

4　申請手数料の振込確認ができる書類

〔留意事項〕

1 学校の卒業生および教育課程の修了者は、所属機関名は書かなくて結構です。住所は 合格証書の送付先をご記入ください。連絡先は平日昼に連絡がつく電話番号(携帯番号 等)をご記入ください。

2 「2 級合格証明書の番号」(受験番号と同じです。)は証書の右上に記載されている番号です。

3 「2 免除申請の理由」の欄には、免除規定の該当する番号(Ⅰの 3 の(1)~(6)) を記載してください。

4 「3 添付書類」について

(1)免除規定Ⅱの 2 の(1)および(2)に該当する場合は、申請者の所属する学校の 教育課程表または年間指導計画(任意の講習会の場合はｶﾘｷｭﾗﾑ等)を添付して ください。

(2)免除規定Ⅱの 2 の(3)および(4)に該当する場合は、研修修了証明書を添付し てください。

(3)免除規定Ⅱの 2 の(5)に該当する場合は、申請者の卒業または修了した学校の卒業証書・卒業証明書または教育課程の修了証書を添付してください。

(4)免除規定Ⅱの 2 の(6)の①に該当する場合は、在住する市町村の農業委員会が発行する耕作証明等(または誓約書(所定の農業機械の使用を約束するもの))を添付 してください。

(5)免除規定Ⅱの 2 の(6)の②および(7)、(8)に該当する場合は、申請者の所 属する組織の責任者が発行する事業概要(計画書)と「1 年以上の職歴を証明する書類」等を添付してください。

5 申請手数料と手数料の振込確認ができる書類について

2 級実技試験免除にかかる審査および 2 級合格証の発行にかかる手数料は、1 人当た り 1,000 円とします。なお、振込手数料は申請者のご負担とさせていただきます。

以下の口座にお振り込みいただいた際の明細の写し、または通帳(必要ヵ所のみ)等 の写しを添付してください。(ご入金を証明できるもの:振込金受領証、ATM 利用明 細等)

6 振り込み口座

【振込口座】みずほ銀行 銀座支店 普通預金

【口座番号】2772364

【口座名義】一般社団法人全国農業会議所

7　申請書送付先 日本農業技術検定協会(事務局:一般社団法人全国農業会議所)

〒102-0084

東京都千代田区二番町 9-8 中央労働基準協会ﾋﾞﾙ 2 階 TEL:03-6910-1126 FAX:03-3261-5131

※営農指導員･普及指導員資格証明書(規定Ⅱ-2-(7)の参考様式)

日本農業技術検定2級実技試験免除にかかる申請書(営農指導員等)

申請年月日　　平成　　年　　月　　日

日本農業技術検定協会　会長
殿

組織名称 ……

代表者氏名 ……㊞

日本農業技術検定 2 級実技検定試験免除規定(以下､免除規定という｡)に基づき､2 級実技試験の免除を申請するにあたり､下記の者は営農指導員･普及指導員等であり 1 年 以上所定の農作業に従事していることを証明します。

記

1　当該職員氏名(　　)
2　当該職員所属先･役職(　　)
3　連絡先
(住所:〒　　)
(電話:　　)
4　職員数(　　)
5　業務内容
(　　)

6　当該職員の業務(営農指導)内容
(　　)
7　上記の従事期間
(　　)
8　添付書類
･2 級学科合格証明書の受験番号･受験年度が確認できる書類
･申請手数料の振込確認ができる書類
※営農指導員･営農相談員･普及指導員の場合はその資格証の写しを添付。

※農業法人等事業概要及び１年以上の農作業証明書（規定Ⅱ-2-(6)の②参考様式）

日本農業技術検定２級実技試験免除にかかる申請書（農業法人等従業員用）

申請年月日　　平成　　年　　月　　日

日本農業技術検定協会　会長　殿

法人等名称 ……

代表者氏名 ……㊞

日本農業技術検定 2 級実技検定試験免除規定（以下、免除規定という。）に基づき、2 級実技試験の免除を申請するにあたり、下記の者は本法人等経営体の従業員であり、1 年 以上所定の農作業に従事していることを証明します。

記

1　当該職員氏名（　　）

2　当該職員所属先・役職（　　）

3　設立（　　）

4　資本金（　　）

5　連絡先

（住所：〒　　）

（電話：　　）

6　従業員数（　　）

7　栽培作物・経営規模

（　　）

8　当該従業員の農作業内容　※2 機種以上の農業機械利用

（　　）

9　上記の従事期間

（　　）

10　添付書類

・2 級学科合格証明書の受験番号・受験年度が確認できる書類

・申請手数料の振込確認ができる書類

8. 行政財産使用申請書の取り扱い

(1) 申請手続き　行政財産使用申請が必要な場合には、検定事務局が申請手続きをします。
必要な団体は、申込み手続きをする際に、団体登録画面の中の確認事項「行政財産使用申請」欄に、「必要」とﾁｪｯｸを入れてください。ﾁｪｯｸした学校へ検定事務局から検定協会様式の「行政財産使用申請書」(次頁参照)を校長あてに郵送します。
都道府県が定めた様式での申請が必要な場合には、必要事項を記入の上、郵送あるいはﾒｰﾙで申請様式を検定事務局に送付してください。なお、団体登録の際、その旨　を備考に記入してください。

(2) 使用料
行政財産の使用料が発生する場合には、必要書類を検定事務局へ郵送してください。

（様　式）

会議所発第　　号
平成　年　月　日

○○　高等学校長　　殿

全国農業会議所
日本農業技術検定協会
会長　二田　孝治

行政財産使用許可申請書

謹啓　時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日本農業技術検定の実施については、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成○○年度第○回日本農業技術検定の実施に当たって、行政財産の使用について許可を受けたいので、下記のとおり申請いたします。

敬具

記

1. 使用財産
　名　　称　　○○高等学校
　所在地
　使用場所

2. 使用目的
　農林水産省・文部科学省後援　　日本農業技術検定試験の実施

3. 使用期間
　平成　年　月　日（土）

4. 使用料
　ご指示のとおり

この件の問い合わせ先　日本農業技
術検定協会　　事務局
一般社団法人全国農業会議所　新規就農・人材対策部　　03-6910-1126
〒102-0084　東京都千代田区二番町 9-8

9. 受験票・試験資材の発送

(1) 受験票の発送等

①受験票の発送　受験票は、試験実施日の 2 週間前までに団体へ郵送します。受験票が届かない場合には、検定事務局に連絡してください。

②受験票の確認　受験票が到着したら、受験者名、受験級等に誤りがないかを確認してください。 受験者名等に誤植がある場合には、試験当日、「試験資材」の中にあるﾃﾞｰﾀ修

正表で修正します。受験票の再発行はできません。なお、使用できる漢字は、 JIS 第 2 標準で、外字対応はできませんので、ご了解ください。

(2) 試験資材の発送

①試験資材の発送　試験資材は、試験実施日の 3 日前（水曜日夕方）に到着するように宅配便で発送します。これを過ぎても到着しない場合には、検定事務局に至急連絡してください。

②試験資材の確認　到着したら、試験資材封入物一覧ﾁｪｯｸ表で、問題や解答用紙などの試験資材

が確実に送付されているかを必ず確認してください。ﾁｪｯｸ表には確認日と確認 者名を記入してください。

もし送付漏れがあれば、直ちに検定事務局に連絡してください。 またﾁｪｯｸ表は、試験終了後、解答と一緒に検定事務局へ返送してください。

注意事項　試験問題（予備を含む）は、5 冊あるいは 10 冊単位でﾗｯﾋﾟﾝｸﾞされていますので、試験当日までﾗｯﾋﾟﾝｸﾞは破らずに、厳重に保管してください。

③試験資材の保管　確認後、試験資材は試験当日まで鍵のかかる場所で厳重に保管してください。

10. 試験結果の通知と合格証等の交付

(1) 試験結果の通知　試験結果は、第 1 回目は 8 月中旬、第 2 回回目は翌年 1 月中旬までに通知します。(試験後 1 か月を目標にしています)　団体受験の場合は、受験者の得点一覧と合格証等を実施団体に一括送付します。

(2) 合格証等の交付　3 級の場合、学科試験合格者には 3 級合格証を送付します。
2 級試験・1 級試験の場合、学科試験のみの合格者にはそれぞれの級の学科試験合格　証明書(選択科目名入り)を交付します。
事前に 2 級実技免除を受けている場合、あるいは 2 級実技試験合格者は、2 級合格証を交付　します。
1 級試験の場合、実技の免除規定はありませんので、1 級実技試験にも合格して初めて 1 級合格証が交付されます。

	3 級	2 級	1 級
学科試験合格	合格証	学科試験合格証明書	学科試験合格証明書
実技試験合格	-	合格証	合格証
2 級実技試験免除者	-	合格証	-

(3) 合格証等の誤植等への対応　送付した合格証等の名前等に誤り・誤植がある場合は、検定事務局に連絡してください。訂正のうえ送付します。なお、外字対応はできませんので、ご了承ください。(合格証の再発行の場合は有料になります)

(4) 合格証等の再発行
①記入事項　合格証等の再発行が必要な場合は、「合格証・合格証明書再発行申請書」に必要事項を記入の上、検定事務局へﾒｰﾙあるいは郵送、FAX で申し込んでください。　手数料の入金を確認後、合格証等を送付します。

記入事項：受験番号(不明でも可)、合格年度、合格級、都道府県名、
氏名(ﾌﾘｶﾞﾅ)、校名・団体名、合格証等の送付先住所、
郵便番号、担当者氏名等

②手数料　800 円

③振込先
【振込口座】みずほ銀行　銀座支店　普通預金
【口座番号】2772364
【口座名義】一般社団法人全国農業会議所
*振込手数料は、申請者の負担となります。

11. 試験官

(1)試験官数 団体受験実施団体は、試験官として１名以上を配置してください。試験官数は、受験者数に応じて実施団体で決めてください。 なお、厳正に試験を実施するため、可能な限り１室２名で担当するように配慮してください。

(2)試験官誓約書の提出 高校・大学校等教育機関以外の JA、農業法人等の団体受験の場合、試験官は、就任に当たって以下の事項を定めた「誓約書」を検定協会に提出してください。(誓約書次頁) 誓約書は試験資材の同封してあります。
なお、もし試験に不正があった場合は、団体受験者全員の合格を取り消します。

誓約事項
①試験運営ﾏﾆｭｱﾙ等試験に関する規程を遵守すること
②試験問題等を試験実施日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと
③職務上知り得た情報を開示、漏洩しないこと
④試験実施に当たっては、厳正公正に行うこと

注意事項
*試験官が複数になる場合でも誓約書は１名の提出でさし支えありません。
*教育機関、都道府県農業会議の場合、試験官誓約書の提出は不要です。

(3)試験官報酬 試験官報酬として、1 人当たり 2,000 円を支払います。 また、1 級試験まで担当した試験官には 2,000 円を追加します。

(4)試験官報酬申請書 第１回目、2 回目の学科試験終了後に、試験官報酬欄に「必要」とﾁｪｯｸした団体へ試験官報酬申請書を郵送します。申請書に必要事項を記入の上、郵便で検定事務局へ 返送してください。

（様式）

日本農業技術検定の受験における試験官誓約書

平成　　年　　月　　日

日本農業技術検定協会　会長　　殿

団　体
名

ﾌﾘｶﾞﾅ
試験官名　　印

住所　〒

電話番号

日本農業技術検定の団体受験（平成　　年第　　回）の試験官就任に当たり、下記事項の遵守を誓約します。

記

1. 試験運営ﾏﾆｭｱﾙ等試験に関する規程を遵守すること。
2. 試験問題等を試験実施日まで適正に管理し、問題を漏洩しないこと。
3. 職務上知り得た情報を開示、漏洩しないこと。
4. 試験実施に当たっては、厳正公正に行うこと。

なお万が一不正があった場合には団体受験者全員の合格を取り消されても異議ありません。

注意事項
*試験官が複数になる場合でも誓約書は１名の提出でさし支えありません。
*教育機関、都道府県農業会議の場合、試験官誓約書の提出は不要です。
*誓約書は試験実施後、答案用紙と一緒に提出願います。

12. 試験運営ﾏﾆｭｱﾙ

(1)試験運営ﾏﾆｭｱﾙ 試験当日は、試験運営ﾏﾆｭｱﾙに基づき、試験運営をしてください。試験監督の留意事項、試験当日の動き、試験官のｱﾅｳﾝｽ内容等を記載しています。

(2)ﾏﾆｭｱﾙの入手方法 試験運営ﾏﾆｭｱﾙは、試験資材といっしょに送付するとともに、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞからﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞできます。「団体申込みﾌｫｰﾑ」画面の「ﾏﾆｭｱﾙはこちら」を ｸﾘｯｸして、入手してください。

日本農業技術検定　試験運営ﾏﾆｭｱﾙ(12 月検定の場合)

日本農業技術検定協会
事務局:一般社団法人全国農業会議所

【試験監督の留意事項】

1. 試験の監督に当たっては、厳正かつ公平に行う。試験中は試験室を離れず、試験監督をする。
2. 遅刻者は、試験開始後 20 分以内に限り許可し、該当の席で受験させる。ただし、試験時間の　延長は認めない。
3. 受験票を忘れた場合、本人であることを確認のうえ、予備の受験票に受験番号、氏名、選択科　目を記入して受験させる。なお、忘れた受験票は試験終了後に日本農業技術検定協会事務局へ送付す　るよう伝える。
4. 受験者が使用する筆記用具は、鉛筆またはｼｬｰﾌﾟﾍﾟﾝに限り、ﾎﾞｰﾙﾍﾟﾝを使わないように　注意する。
5. 試験監督者は、答案用紙、受験票の回収漏れがないように十分注意する。
6. 急病人の発生等緊急事態が生じた場合には臨機応変の処置をとる。その処置を行った時は速や　かに日本農業技術検定協会事務局へ報告する。
7. 答案用紙回収時には、選択科目の記入があるかどうかをﾁｪｯｸする。

【役割分担】

A=試験監督者(試験問題・解答用紙準備→試験監督→受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄの作成→実施報告　書の作成→返送)

B=監督者補佐(試験会場の準備→受付→出欠確認・受験票等の回収→ﾊﾟｯｷﾝｸﾞ→返送)　写真の貼付は必要ないこととしています。

【ﾄｲﾚに行く受験者への対応】

1. B は受験者をﾄｲﾚの前まで連れて行く。あまり長時間にわたるようならば声をかける。試験監　督者は試験室を離れない。
2. B は終わり次第、受験者を試験室へ連れ帰る。

【不正行為等を発見した場合の処理】

1. 試験監督者は、不正行為の疑いのある者を発見した場合は、直ちに注意を与えるとともに、以後　不正行為を行った場合は退席させる旨を伝える。 2. 再度同様の行為をした場合には、試験監督者は直ちに退席を命ずる。試験実施報告書には、不正　行為の顛末を記す。 1. 上記以外の行為、例えば受験者間での私語の取り交わし、答案用紙の交換等もこれに準じた取り扱いとする。

【机上ﾗﾍﾞﾙの使い方について】

試験資材に同封される机上ﾗﾍﾞﾙに示す番号は、受験票の下 9 桁を表示している。そのため、同様　の机上ﾗﾍﾞﾙを 1, 2, 3 級に渡って使用する。

（例）

2 級受験者　　受験番号　　1612102345001

3 級受験者　　受験番号　　1613102345001

⇒いずれも、机上ﾗﾍﾞﾙ「102345001」用いる。

【試験当日の動き】

	A	B
8:45	会場集合、事務室で試験資材を受け取る。	
8:45	試験問題、解答用紙の数量を確認する。	①机に座席ﾗﾍﾞﾙを貼る。 ②試験室ﾄﾞｱに案内紙を貼る。
9:30	3 級受験者を会場に入室(以下、「当日のｱﾅｳﾝｽ」)させる。	受験者に入室を促す。
10:00	3 級試験開始。	
10:20	3 級受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄに記入する。	出欠が確定した時点で、試験会場を巡回し 受験者の写真と本人の照合を行い、受験票を回収する。
10:40	3 級試験終了。 回収した受験票、解答用紙、受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄを B に渡す。	①受験票、②3 級解答用紙、③3 級受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄ(氏名等の修正がある場合は④「ﾃﾞｰﾀ修正表」)を箱に詰める。→保管
10:50	3 級だけの試験会場は、実施報告書を作成し、B に渡す。 2 級受験者を会場に入室(以下、「当日のｱﾅｳﾝｽ」)させる。3 級から 2 級の間は限られた時間なので機動的に対応する。	※実施報告書を箱に詰め、返送する 受験者に入室を促す。
11:10	2 級試験開始。	
11:30	2 級受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄに記入する。	出欠が確定した時点で、試験会場を巡回し 受験票の写真と本人の照合を行い、受験票
12:10	2 級試験終了。 回収した受験票、解答用紙、受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄを B に渡す。	①受験票、②2 級解答用紙、③2 級受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄ(氏名等の修正がある場合は④「ﾃﾞｰﾀ修正表」)を箱に詰める。→保管
12:15	実施報告書を作成し、B に渡す。	※実施報告書を箱に詰め、返送する。
12:15	昼食・休憩	

12:30	1 級受験者を会場に入室(以下、「当日のｱﾅｳﾝｽ」) させる。	受験者に入室を促す。
13:00	1 級試験開始。	
13:20	1 級受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄに記入する。	出欠が確定した時点で、試験会場を巡回し 受験票の写真と本人の照合を行い、受験票を回収する。
14:30	1 級試験終了。 回収した受験票、解答用紙、受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄを B に渡す。	①受験票、②1 級解答用紙、③1 級受験者名簿兼出欠ﾘｽﾄ(氏名等の修正がある場合は④「ﾃﾞｰﾀ修正表」) を箱に詰める。
14:35	実施報告書を作成し B に渡す。	※実施報告書を箱に詰め返送する。
14:35 ~	回収に来たﾔﾏﾄ運輸の担当者に渡す。あるいは最寄りのﾔﾏﾄ運輸営業所またはﾔﾏﾄ便取扱いのあるｺﾝﾋﾞﾆに持ち込む。 ※必ずご依頼主控えをもらい、保管すること。	
これで終了です。		

※　受験者の受験級によって終了時間が異なりますので、機動的な対応をお願いします。

※　第 1 回試験は、1 級試験がありません。

13. その他

(1) 一般受験者受け入れ意向確認と受け入れご協力のお願い

団体受験会場で一般受験者の受け入れについて、意向と受け入れ可能人数を試験実施前に確認します。

一般受験者の受け入れ可能と回答いただいた学校・団体は、試験会場の 1 つとして、当技術検定のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ上に掲載いたします。

一般受験者の受験会場を増やすため、ぜひともご協力をお願いいたします

(2) 問い合わせ先

試験実施に当たって当「ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」に記述した以外に必要書類がある場合や記述に不明な点等がありましたら、検定事務局にお問い合わせください。

発行:日本農業技術検定協会(事務局:一般社団法人全国農業会議所)

〒102-0084　東京都千代田区二番町 9-8
TEL:03-6910-1126
FAX:03-3261-5131
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ:https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:kentei@nca.or.jp

日本農業技術検定協会は全国農業協同組合中央会、全国町村会、全国農業高等学校長協会、全国農学系学部長会議、全国大学附属農場協議会、全国農業大学校協議会、(一社)全国農業改良普及支援協会、(公財)農民教育協会、(公社)国際農業者交流協会、(一社)日本農業機械化協会、(公社)日本農業法人協会、(一社)全国農協観光協会、(一社)農山漁村文化協会、(一社)全国農業会議所の14団体から構成されています